県民の森の植物 No.84　ミヤマイボタ（モクセイ科 イボタノキ属）

落葉低木、通常は高さ1～3m になるそうですが、標高の高い県民の森では高さ約 30 ～ 80 ㎝ほどで、冬は雪に埋もれています。「イボタノキ」の仲間で、山深い場所に生えることから「ミヤマイボタ」。別名、奥山の意味で「オクイボタ」とも呼ばれます。「イボタ」は本種に寄生するカイガラムシから採れる白蠟（はくろう）で疣（いぼ）を取ったことから「イボトリ」が「イボタ」になったそう。花は初夏、枝先に白い花をつけます。秋に黒い球形の実ができて雪が降っても残っていることが多いです。落葉は遅く、他の木々がほとんど落葉しても、まだ林床で葉をつけている姿はとても目立ちます。


芽吹き　2024/4/19


新緑　202/6/30


花　2020/6/30


若い実　202/9/8


黄葉　2024/11/5


熟した実　2024/11/24

県民の森　木工教室

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

キーフック＆トレイ

2025 年2月1日（土）

10:00 ～ 12:00（昼休憩無）

※着色希望の方は、昼休憩を挟んで14:00 頃完成となります。

【定　員】10 名
【参加費】2,000 円（着色料別途 1,000 円）
【会　場】木材工芸センター

暖かみのある木製のキーフック＆トレイは、薄型・コンパクトでシンプルなデザインなので、玄関やリビングなど、どんな場所でも馴染みます。鍵や小物をまとめて収納、「何処に行った」と探さなくても大丈夫です。初めての方も指導員が丁寧に指導しますので安心です。



森林ふれあい学習館　ギャラリー 展示

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

岩手菌類研究同好会（いわてきのこ会）　顧問　吉田勝治 撮影

企画写真展 ～身近なキノコたち～

2024年11月8日（金）～2025年2月24日（月・祝）

キノコに出会うには、ちょっとしたコツがある。

岩手菌類研究同好会（いわてきのこ会）からのメッセージ

当会は昭和45 年に結成し50 年以上活動している同好会です。
主な活動としては、勉強会、きのこ採取会を年数回、盛岡市大通りでの展示等を行い会員同士の親睦を図りながら楽しくきのこについて研究しています。
一般の方々へも写真展示会などできのこについてお知らせしています。
現在会員は 33 名です、ぜひ一緒にきのこを楽しみませんか？



岩手県森林公園

県民の森だより

2025. 1
Vol.228

発行　岩手県県民の森
（公益社団法人
岩手県緑化推進委員会）
【毎月5日発行】


岩手山　2024/1/1

岩手山の麓、標高約 600m の県民の森は、冬は銀世界となります。厳冬期の雪質はパウダースノー、ふかふかの雪を楽しみながら散策ができます。学習館ではスノーシューのレンタルもあり、初めての方は履き方、歩き方までお教えしますので。雪に親しむことができます。また、無雪期には気付かなかった動物たちの足痕が雪上に残り、その主を想像しながら足痕を辿ることもできます。ようこそ、雪景色の県民の森へ。

岩手県県民の森　管理事務所

〒028-7302　岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5　森林ふれあい学習館フォレスト i（アイ）
TEL. 0195-78-2092　FAX.0195-71-1778
開館時間：9 時～ 16 時　火曜休館（祝日の場合翌日振替）

（旧 Twitter）
@forest_iwate

冬の楽しみ

雪が積もると、無雪期には気付くことがなかった動物たちの足痕が見られます。こんなところを歩いているのかと、興味深々。足痕の主を想像すると、嬉しくなります。冬ならではの楽しみです。



【ニホンカモシカ】2024/2/26
足痕を辿ると、出会うこともあります。しばらくこちらを見ていますが、静かにしていると、何事もなかったかのように食事を続けることが多いです。



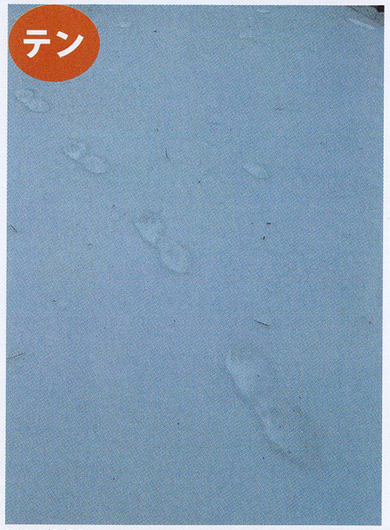
【リス】2021/11/28
冬は見通しが良く、雪上を動き回る姿も目立ちます。新雪のなかを小さな身体でラッセルしながら歩く姿が見られます。



2024/2/26
蹄が 2 つに分かれています。柔らかな雪だと、足運びの蹄の痕が 2 本の筋になって雪面に残ります。



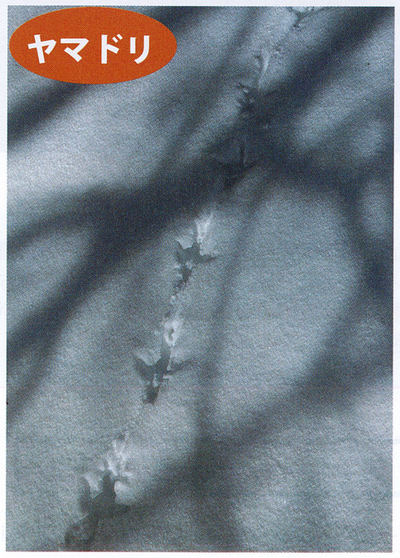
2024/1/30
進行方向は上。跳び箱を飛ぶように、大きな後ろ足でジャンプして、前足から着地します。



2024/1/30
テンは様々な足痕を残しますが、シャクトリムシのように走行し、2 つずつ揃った足痕がつきます。



2024/1/29
左右の足痕がほぼ真っ直ぐに続きます。



2024/1/30
前向きに 3 本の特徴ある足痕です。



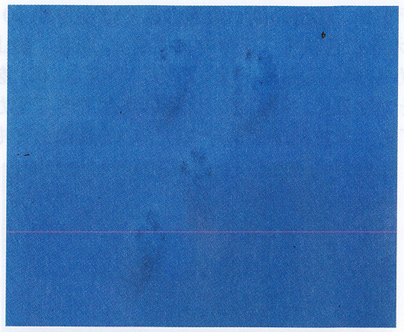
2023/12/31
小さな足痕と尻尾の 1 筋の直線が目印です。

リスの痕跡をみつけよう

県民の森にはリスが沢山暮らしています。リスは冬眠しないので、雪上の足痕や食痕があちこちで見られます。冬はその存在を身近に感じることができる季節です。



【リス足痕】2021/12/23
ノウサギと同様に、大きい後ろ足でジャンプして、幅の狭い前足で着地します。



【リス足痕】2024/1/1
雪の状態によって足痕の形は変化しますが、締まった雪だと後足指は 5 つ、前足指は 4 つの痕が残ります。



【リスの松ぼっくりの食痕】2021/1/28
松ぼっくりの種や貯食していたオニグルミなどを食べるので、食痕が白い雪面に目立ちます。

県民の森の１月

雪景色のなか、落葉した木々の樹形の美しさが際立ちます。葉が茂る頃とは全く異なる北国の自然の風景です。



【アカマツとシラカンバ】2024/1/16
雪景色のなか、アカマツの赤っぽい樹皮、シカランバの白い樹皮が映えて、その対比が面白いです。



【ヤドリギ】2024/1/29
落葉するとその姿が目立ちます。鮮やかな実は冬鳥のレンジャクたちの好物です。



【カラマツ】2024/1/29
山麓一帯に造林されており。冬季は円錐形の美しい樹形を見せてくれます。

県民の森　冬のアクティビティ

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

冬、県民の森は一面の雪景色となります。八幡平は本州でも雪質が特に良いことで有名、極上のふかふかの雪のなかをスノーシューで散策します。スノーシューは雪の上を歩くときの道具。深い雪でもスノーシューを履いていると浮力があるので、快適に歩くことができます。無雪期には笹薮で歩くことができない場所でも、スノーシューならどこへでも行かれるので、雪上の動物の足跡を辿ってみることもできます。県民の森で岩手山麓ならではの美しい雪景色を楽しみませんか？

●スノーシュー、ソリ・レンタル

【時　間】9:00 ～ 16:00
【料　金】スノーシュー 1,000 円（ダブルストック付）
ソリ（大）500 円 / ソリ（小）100 円
スノーチューブ 600 円（3 時間）

道具がなくても、レンタルがあるので大丈夫。スノーシューが初めての方は、履き方、歩き方からお教えしますのでお声掛けください。
この冬、スノーシューデビューしませんか？
ご予約がお勧めです。



●県民の森スノーシュー冒険ツアー

【開催日】2025年1月25日（土）/ 2月9日（日）
【時　間】9:30 ～ 12:00
【参加費】1,500 円（スノーシューレンタル別途1,000円）
【定　員】10 名（小学 3 年生以上対象）

スノーシューを履いて、無雪期は笹薮で行くことのできない秘密の場所へご案内。
動物の足跡や冬芽を観察しながら、冬の県民の森を満喫します。

※岩手山噴火警戒レベルが下がり、七滝登山道閉鎖が解除された場合は「七滝氷瀑スノーシューツアー」を開催します。



●スノーシュープライベートガイド

【開催日】イベント以外の日、日時はご相談ください。
【時　間】約 60 ～ 90 分
【参加費】7,000 円（この料金で５名まで案内）
（スノーシューレンタル別途 1,000 円）

プライベートだからご自分のペースで、ゆっくりと雪景色を楽しみながら歩くことができます。県民の森を良く知るガイドが冬の園内のとっておきの場所をご案内。「雪だるまをつくりたい」「松川渓谷に行きたい」など、リクエストも承ります。

